

# 2020年度愛媛県がん相談員研修会 オンラインQA研修「相談対応の質保証を学ぶ」

● 受講者33名  
(定員30名)

【内訳】

★ 県内18名 (拠点病院 15名、推進病院 3名)

★ 県外15名 (青森、岩手、新潟、岐阜、東京、神奈川、  
愛知、大阪、香川、高知、福岡)

愛媛県がん相談員研修会  
オンラインQA研修  
「相談対応の質保証  
(QA: Quality Assurance)を学ぶ」  
2020年11月14日(土)  
13:00~17:00

参加費 無料

講師 ◆国立研究開発法人 国立がん研究センター  
がん対策情報センター 八巻 知香子 先生

研修内容 「相談対応の質保証QA: Quality Assurance」を学ぶ  
講義配信とビデオ通話でのグループディスカッション

目的 がん相談支援センターにおける相談対応の質保証と向上

対象者 ・がん相談に従事する相談員 ・他県からの参加も可能  
(医師、看護師、MSW、心理士等)

参加条件 ZOOMを用いたオンライン研修です。1人1台のデバイス(PC、  
タブレット等)、安定したネットワーク接続環境準備できる方

定員 定員30名程度

申込方法 ※申込者お1人ずつメールアドレスが必要です。  
申込期限 2020年10月12日(月)  
申し込みフォームよりお申込みください  
↓  
<https://forms.gle/HmQQN1C8R1v3ByAd9>

本研修では、事前課題に取り組みいただく必要があります。事前課題は申込者宛に  
送って事前課題と合わせてご連絡いたします。

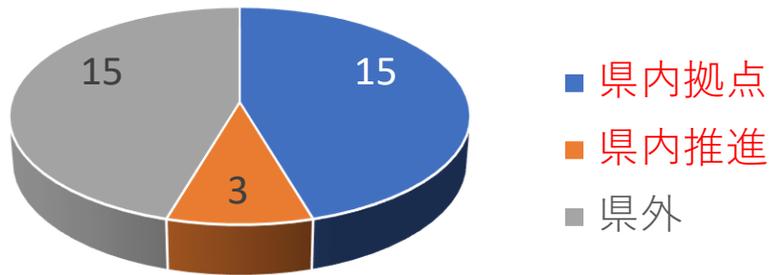
本研修は、国立がん研究センターが主催する「認定がん専門相談員制度」におけ  
る登録研修の単位認定申請をしております。

お問い合わせ: 西園がんセンター 患者・家族総合支援室 (福岡)  
(事務期) TEL: (089) 999-1209 FAX: (089) 999-1210  
岡山市南区本町1-100番 E-mail: s19-ku@ncc.or.jp

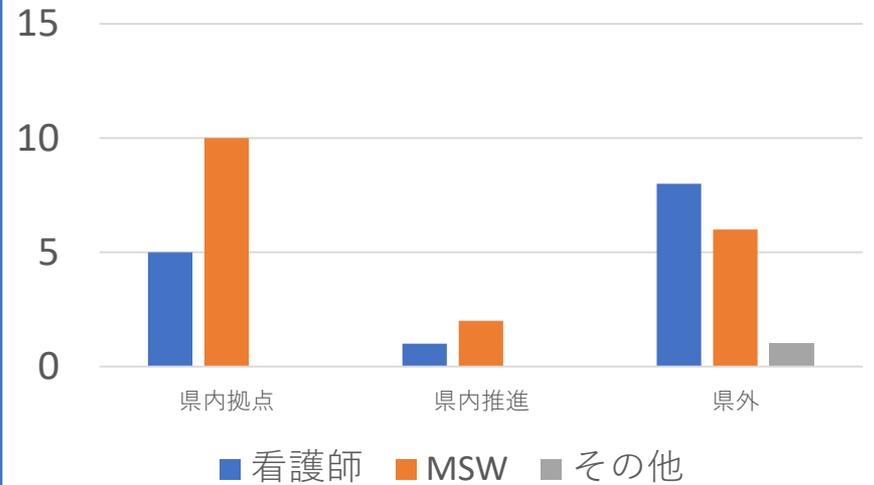
Zoomを用いた  
オンライン研修

# 受講者報告

## 受講者数（施設別）



## 受講者数（職種別）



# 運営スタッフ

司会・オリエンテーション	福島 美幸 (四国がんセンター)
講師・進行	八巻 知香子先生 (国立がん研究センターがん対策情報センター)
グループファシリテーター	1 G : 和田 美恵子 (住友別子病院)      5 G : 白川 律子 (三豊総合病院) 2 G : 関木 裕美 (四国がんセンター)      6 G : 四國 友理 (高知大学医学部附属病院) 3 G : 前田 英武 (高知大学医学部附属病院)      7 G : 福田 直也 (徳島大学病院) 4 G : 高田 裕子 (徳島大学病院)      8 G : 小田 優子 (香川大学医学部附属病院)
事務局	塩見 美幸 (愛媛大学医学部附属病院)      松岡 誠子 (済生会今治病院) 三木 晃子 (香川大学医学部附属病院) 石川 宏昭 (四国がんセンター)      安宅 麻美弥 (四国がんセンター)

# オンライン研修会開催の準備

## 【受講者向け】

- 事前接続テストの実施（11/5 6回）（11/14 2回）
- Zoomミーティング入室操作ガイドの作成
- Zoomミーティング機能操作マニュアル作成
- 事前オリエンテーション（オンライン研修会へ参加される方へのお願い）作成
- 研修当日の連絡事項作成  
（URL・入室時間・名前の変更・緊急連絡先/電話）

# オンライン研修会開催の準備

## 【運営スタッフ向け】

### ■四国ブロックがん相談員と愛媛がん相談員研修WG コアメンバーで合同打ち合わせ開催

- ・ Zoomミーティング入室操作ガイド・機能操作マニュアル共有
- ・ メインホスト・共同ホストの設定等運営の打ち合わせ
- ・ グループディスカッションの設定（ブレイクアウトセッション）・グループワーク（アイスブレイク）を体験、巡回を体験
- ・ グループファシリテーションのポイントや事例を共有

# 準備の工夫

- 申込フォームをGoogleフォームで作成し、URLとQRコードをポスターに貼り付け  
名簿作成が自動でできる
- 郵送を避け、メール配信
- 1G 4名～5名 とファシリテーター1名 と小規模
- 運営スタッフ:国立がん研究センターがん対策情報センター  
がん相談支援センター相談員研修担当作成の  
オンライン研修企画者（ホスト）の手引きを参考

各々の施設でZoomを体験、機能や操作について知る努力、Zoom研修体験をシェア

# 感想（運営側）

- 四国ブロックで取り組んできた3年間の集大成として、ファシリテーターがQA研修に慣れており安定した研修であった。
- 県をまたいで協力体制をとることで新たな研修が開催できるのではないか。
- 開催会場にZoom操作等、運営側に必要な人材や人員もオンライン研修には重要。
- ネットワークの脱落者が出ず良かった。
- ファシリテーターが一時抜ける事態が2G発生したが、ファシリサポーターがしっかり役を担ってくれて進行が途絶えることはなく良かった。
- 土曜日開催のため、自宅からの参加者が半数近くおり、接続テストを当日午前中に受ける方（11名）も多かったにも関わらず、比較的にリラックスして参加していた様子であった。

# 感想（受講者）

どうでしたか？

今回、残念ながら  
参加できなかつた方々

要望やご意見はありませんか？

# 2021年度のがん相談員研修会

要望や意見はありませんか？

きっと、集合研修は難しいはず！  
オンライン研修会を前提に企画？

## 整備指針（H26.1）

都道府県拠点病院が、指導者研修を受講すること「地域拠点病院等の相談支援に携わる者に対する継続的かつ系統的な研修を行うこと」が要件に

## 整備指針（H30.7）

がん相談支援センターは「都道府県拠点病院が実施する研修を受講すること」が要件に

**継続研修受講を是非！**

**多様な相談内容への対応や知識・スキルのアップデート、質向上を目指しましょう！**